

2019年6月9日

ペンテコステ礼拝説教要約

聖霊が降られた出来事

(使徒2・1〜13)

一、ペンテコステの日に

1節をご覧ください。〈五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。〉とあります。聖霊、すなわち聖霊なる神が紀元30年のペンテコステ(五旬節)の日に降られました。天地を創られた神が、聖霊として降られました。御子イエス・キリストによって現れた神は、天にお帰りになった後、聖霊によって御自身を現されました。すなわち、降られました。これは一回的な出来事ですから、以来神は聖霊によって私共に働き続けておられると言えます。

二、風の中に臨まれた

2節をご覧ください。〈すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起り、彼らのいた家全体に響き渡った。〉と書かれています。主イエスが教えてくださった父の約束——もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受ける——を求めて、始めは少数で始まった祈り会が、人数が増えて120名に膨らんだと書かれています。その祈り会に、突然、聖霊なる神が臨まれました。その際、聖霊なる神が〈激しい風が吹いて来るような響き〉と共に降ら

れました。激しい風が神なのではありません。風と振動が響き渡ったのが神なのでもありません。神は人間の目には見えないお方です。私たちの知性をもってしては見えないお方です。ですが、キリストに思いを傾け、心を研ぎ澄ましていると、神の働きが分かります。

三、ひとりひとりの上に

聖霊なる神は、イエス・キリストを信じる弟子たちひとりひとりの上に留まられました。3節をご覧ください。〈また、炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。〉と書かれています。神は聖霊によって、ひとりひとりの上に留まられます。自分から信仰を捨てない限り、御霊が取り去られることはありません。

四、聖霊に満たされる

弟子たちは聖霊に満たされました。4節です。〈すると、みな聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。〉とあります。〈満たされ〉るといっていることから、聖霊が内に住まわれるという意味になります。「内」とは、どこの中に、でしょうか。信者の集まりである教会の内、です。そして、一人ひとりの内に、です。

教会が聖霊に満たされるとは、同時に一人ひとりが聖霊に満たされること

でもあります。

五、他国の言葉を語った

弟子たちの一人ひとりが聖霊に満たされることによって、どうなったのでしょうか。4節に書かれていますように、〈御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。時に、エルサレムにはユダヤ人たちがあらゆる国から来て、住んでいました。5節に書かれています。〈さて、エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、天下のあらゆる国から来て住んでいたが、〉と。「他国の言葉」とは、これを語った弟子たちにとつては、コリント人への手紙14章に書かれているような「異言の言葉」であつたと思われれます。ですが、弟子たちの全員であつたかは分かりませんが、語られた言葉の中に意味の通じる他国の言葉があつたようです。7節、8節に書かれているからです。〈彼らは驚き怪しんで言った。「どうでしょう。いま話しているこの人たちは、みなガリラヤの人ではありませんか。それなのに、私たちがめいめいの国の国語で話すのを聞くとは、いったいどうしたことでしょう。〉と。

では、聖霊に満たされた弟子たちは、何を語ったのでしょうか。神の御業です。すなわち、神がイエス・キリストを遣わされ、信じる者を救う御計画が実現したという内容であつたと思われま

す。11節に書かれているからです。〈あの人たちが、私たちのいろいろな国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞くとは。〉と。

イエス・キリストを信じることによつて、人は新しく生まれ変わります。多くの場合に悪口を言う舌から解放され、言葉をもつて、唇をもつて、父・子・聖霊なる神をほめたたえるように変えられます。

六、聖霊は宣教の霊

最後に申し上げたいことは、聖霊は宣教の霊であることです。聖霊は私たちを宣教に押し出します。キリストを伝える活動である伝道に押しやります。

20世紀の初頭、聖霊の激しい働きが始まりました。私たちが受け継いできたことは、1901年1月1日米国はカンザス州トペカのベテル聖書学校に聖霊が激しく降られたことです。さらに1906年にはロサンゼルスのアズサ通りで聖霊の注ぎがあつたことです。これを契機として、1914年にアーカンソー州ホットスプリングで、経験を同じくする者たちが集まり、ペンテコステ信仰に立つ教職の育成と海外宣教という二つの使命を達成するべく、教団が結成されました。そして、今やアッセンブリー(A.G.)は世界で一番多くの宣教師を輩出している流れになりました。聖霊が私たちが宣教に押し出すからです。